

【様式1】

団体名 南城市立知念小学校	連絡先 TEL : 098-948-1302 Eメール : chinensho@edu.city.nanjo.okinawa.jp
-------------------------	---

1 実践事項 (①地域・関係団体との連携)

タイトル: 「保・幼・こ・小・中・地域・関係団体との連携を生かし、
異学年交流で社会性を育てる児童の育成を目指して」

2 実践内容

異学年交流学习として、1, 3, 5年生は保・幼・こ異学年交流学习を行い、各学年では地域人材や関係団体と連携した授業を行った。

1,3,5年生

「保・幼・こ」の先生方と連携し、月に一度1, 3, 5学年の各学年に園児を教室に招いて交流学习を行った。交流学习後に、担当した先生同士で意見交換を行い、児童や園児の様子や交流学习の成果や課題について話し合った。

2年生

生活科の「野菜名人」として、地域人材を活用して野菜作りのアドバイスを教えてもらい、自分たちの野菜作りを実践した。

地域探検で出た疑問を、地域の詳しい方に教えてもらう学習を行う予定である。

4年生

地域人材を生かして、「稲作体験」に取り組み、田植えから稲刈りまで体験した。また、知念の稲作の歴史について調べ、学んだことを新聞でまとめ発表した。

6年生

総合学習「南城市の未来を考えよう」の学習で、南城市を良くするために「海洋ゴミ」と「地域行事」の2つの視点から学習を行った。

- ・RBCの「美らビーチクリーンプロジェクト」の出前授業で県内における海ごみの実態と、その問題点について学んだ。実際に知念の海(海野ビーチ)でビーチクリーンを行った。
- ・知念小・中で、地域の伝統行事「海野ハーリー」に参加し、6年生は事前のビーチ清掃やハーリーに参加して地域の行事について学んだ。
- ・地域の人材を活用して「紅型色付け体験」を行う予定。

全学年

- ・春の遠足では異学年でペアを作り、レクリエーションやお弁当を通して異学年交流を深めた。
- ・「校内長縄跳び大会」を開催し、2学年で合同チームを作り、高学年が低学年を補佐するなど、発達段階に応じた対応を学ぶことができた。
- ・地域の伝統行事「ヌーバレー」や「知念綱引き」に参加し、地域の行事に親しみながら体験したことを作文にまとめ振り返った。

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



2年【野菜名人】



4年【稲刈り体験】



6年【ビーチクリーンプロジェクト】

4 成果

- ・保・幼・こ交流学習を通して、発達段階に応じた就学児童や各学年の成長を学び、どのような学習方法が効果的なのか等を意見交流することができた。
- ・見学や体験活動を通して、実際に目で見たり聞いたりしたことで、地域のすばらしさを実感することができた。
- ・子どもたち自身が、地域の事について知らないことにたくさん気づき、総合の時間に調べたり、お家の人にインタビューしたりするなどして、自分たちの住んでいる地域の行事について関心を持ち調べようとする児童が増えた。

5 課題

- ・地域の伝統行事について知っている人材が教師側で少ないので、校内研などで地域について触れた研修や、地域人材を招いて講話を行ってもらうなど、地域の事について知識を深める必要がある。
- ・新しい年度になってからでの計画では、日程調整や交渉は担任のみでは困難なので、前年度で計画を練り、次年度に引き継げる体制づくりを整える。